

かんたん設置ガイド

プリンターの設置を安全に行なうための注意事項は、裏面の「安全にお使いいただくために」に記載されています。
設置を始める前によくお読みください。

Step 1 設置準備

同梱品がそろっているか確認する

プリンター

次のものが取り付けられています。

- 給紙カセット (用紙サイズ表示板を含む)
- トナーカートリッジ
- 装着されているトナーカートリッジは、そのままご使用になれます。

電源コード

CD-ROM「User Software」

次のものが収められています。

- プリンタードライバー
- NetSpot Device Installer
- FontGallery
- e-マニュアル
- Macintosh用オンラインマニュアル

LANケーブルやUSBケーブルは付属していません。

USBケーブルは、次のマークがあるケーブルをご使用ください。

アース線

用紙サイズシール

保証登録のお願い

ポケットガイド

かんたん設置ガイド(本書)

設置場所を決める

設置条件

- 十分なスペースが確保できる場所
- 風通しがよい場所
- 平坦で水平な場所
- 本プリンターの質量に耐えられる十分な強度のある場所

温度/湿度条件

- 温度範囲: 10~30℃
- 湿度範囲: 20~80%RH (相対湿度・結露しないこと)

電源条件

- AC100V ± 10%、15A以上
- 50/60 Hz ± 2 Hz

以下の各部の寸法を参考にして、設置スペースを確保してください。

前面

給紙カセット

ペーパーフィーダーの右カバー

ペーパーフィーダー(3台)装着状態

最初にお読みください。
ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

<Macintoshをお使いのお客様へ>
本書では、Windowsを例に説明しています。Macintosh用のプリンタードライバーとユーティリティの使いかたについては、「オンラインマニュアル」(HTMLマニュアル)を参照してください。また、プリンターの取り扱いやメンテナンス方法などについては、「e-マニュアル」(HTMLマニュアル)を参照してください。

「オンラインマニュアル」の表示方法
付属のCD-ROM内の「CAPT」フォルダーに収められている「index.html」をダブルクリックします。

「e-マニュアル」の表示方法
付属のCD-ROM内の「Manuals」フォルダーに収められている「index.html」をダブルクリックします。

テープはすべて取り外す

以降の手順を行う際、オレンジ色のテープがプリンターに貼られているときは、すべて取り外してください。
※ 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

Step 2 梱包材を取り外して、設置場所に運ぶ

給紙カセットを止まるまで引き出す

部材を矢印の方向に回す

取り外す

Check!

梱包材はすべて取り外しましたか?

テープ

部材 ×1

※ 上記の梱包材は、地域の条例に
したがって処分してください。

オレンジ色のテープがすべて取り外されていることを確認する

※ 確認が終わったら、カバーと手差しを
すべて閉めてください。

ペーパーフィーダーを取り付けて使用するとき

プリンターを設置場所に運ぶ前に
ペーパーフィーダーを設置してください。

ペーパーフィーダーを取り付ける P.6

ペーパーフィーダーを取り付けずに使用するとき

プリンターを設置場所に運んでください。

*プリンターは、約 41.2 kgあります。
3人以上で持ち上げてください。

左側面図

左右の取っ手に
手を掛けて運ぶ

Step 3 給紙カセットに用紙をセットする

1 手前のロック解除レバーをつまむ

2 この部分をセットする
用紙サイズに合わせる

3 図の位置のロック解除レバーをつまむ

4 この部分をセットする
用紙サイズに合わせる

5 用紙を用紙ガイドに合わせて
セットする

P.3に続く

A4サイズの用紙をご用意ください

Step6で、動作の確認のためプリンターステータスプリントを印刷します。
プリンターステータスプリントはA4サイズ用に設定されていますので、ここでは、A4サイズの用紙をセットしてください。

6 用紙をツメの下に入れる

7 用紙サイズ表示板を取り出す

8 用紙サイズシールを貼る

9 セットする

10 給紙カセットをセットする

Check!

積載制限マークを超えないようにセットしてください。

ここまで

用紙ガイドを正しい位置に
セットする

側面の用紙ガイドおよび後端の
用紙ガイドを用紙に突き当て
てください。

Step 4 電源コードとアース線を接続する

1 電源スイッチの"ON"側が押されていることを確認する

2 アース線端子のネジをゆるめて取り外し、付属のアース線をネジ止める

3 しっかりと差し込む

4 接続

5 差し込む

電源スイッチの"ON"側が押されていることを確認する

アース線端子のネジをゆるめて取り外し、付属のアース線をネジ止める

しっかりと差し込む

接続

差し込む

続いて、プリンタードライバーをインストールします

プリンターとコンピューターを接続する方法は?

USB接続

LAN接続

プリントサーバーを経由 (Windowsのみ)

付属のCD-ROMに収められているe-マニュアル (HTMLマニュアル)を参照して、プリンタードライバーをインストールしてください。

User Software

Step5へ P.4

Step 5 プリンタードライバーをインストールする

プリンターとコンピューターを接続する

USB接続の場合

1 OFF

2 "ON"側が押されていることを確認する

3 Bタイプ (四角い) 側を接続

4 Aタイプ (平たい) 側を接続

ここではまだプリンターの電源は入れないでください。

LAN接続の場合

1 LANケーブルを接続する

2 反対側をハブに接続する

3 開ける

4 "I"側を押す

5 LNKランプが点灯していることを確認する

100ランプ LNKランプ

100BASE-TXの場合は、
100ランプも点灯します。

コンピューターの電源を入れて、管理者権限のユーザーでWindowsにログオンする
※ Macintoshをお使いの場合は、「オンラインマニュアル」(HTMLマニュアル)を参照してください。

プリンタードライバーをインストールする

1 付属のCD-ROM
「User Software」をセットする

2 クリック

3 クリック

4 使用許諾契約の内容を確認

5 クリック

6 クリック

7 Readmeファイルの内容を確認してから開ける

8 クリック

P.5に続く

左の画面が表示されないとき
次の手順で表示します。
(ここでは、CD-ROMドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROMドライブ名は、お使いのコンピューターによって異なります。)

- Windows 2000/XP/Server 2003
① [スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選択します。
② 「D:\JapaneseV\Minst.exe」と入力して、[OK]をクリックします。
- Windows Vista/7/Server 2008
① [スタート]メニューの [検索の開始] または [プログラムとファイルの検索] に「D:\JapaneseV\Minst.exe」と入力します。
② キーボードの [ENTER] キーを押します。

[自動再生] が表示されたとき
[AUTORUN.EXEの実行] をクリックします。

[ユーザーアカウント制御] が表示されたとき
[続行] または [はい] をクリックします。

USB接続の場合

⑨ 選択 ⑩ クリック

⑪ クリック ⑫ この画面が表示されたら、プリンターの電源を入れる

① 開ける ② "I"側を押す

コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されたとき
コンピュータの再起動後にインストールをやりおしてください。

LAN接続の場合

⑨ 選択 ⑩ クリック

⑪ クリック (お使いの環境によっては表示されません。)

⑫ [プリンター一覧]の[製品名]に表示されている内容によって、操作が異なります。

[LBP9200C]と表示されている場合

[不明なデバイス]と表示されている場合

何也表示されない場合

⑬ クリック

⑭ クリック

⑮ クリック

インストールが開始されます
(インストールに時間がかかることがあります。)

インストール結果を確認する

① が付いていることを確認する ② クリック ③ チェックマークを付ける ④ クリック

インストールが完了すると
デスクトップに[LBP9200C e-マニュアル]が作成され、いつでもe-マニュアル(HTMLマニュアル)をご覧ください。
プリンターの詳しい使いかたや、困ったときなどはe-マニュアルを参照してください。

LBP9200C e-マニュアル

Step ⑥ プリンターの動作を確認する

プリンタステータスプリントを印刷して、動作を確認してください。

① 給紙力セットにA4サイズの用紙がセットされていることを確認する ② クリック ③ クリック

④ 選択 ⑤ クリック

プリンタステータスプリントが印刷されます。

プリンタステータスプリントが印刷されないとき
e-マニュアル(HTMLマニュアル)の「困ったときは」を参照してください。

プリンターのセットアップが終了しました
ここまでの手順が終了すると、プリンターをお使いいただくことができます。

Option ペーパーフィーダーを取り付ける

プリンターとペーパーフィーダーを同時に設置するとき

ペーパーフィーダーをあとから設置するとき
(プリンターをすでに使用しているとき)

① コンピューターの電源を切る ② プリンターの電源を切り、接続されているケーブルやコードを取り外す

USBケーブル* 電源コード①/アース線

LANケーブル* ① 電源プラグを抜く ② アース線を取り外す ③ プリンターから抜く ④ プリンターから取り外す

* 接続の有無は、お使いの環境によって異なります。

テープはすべて取り外す

以降の手順を行う際、オレンジ色のテープがペーパーフィーダーに貼られているときは、すべて取り外してください
※ 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

① ペーパーフィーダーを箱から取り出す ② 止まるまで引き出す ③ 取り外す ④ 取り外す

⑤ ここをつまんで取り外す ⑥ 給紙力セットをセットする

Check!
梱包材はすべて取り外しましたか?
テープ ① テープ付きの部材×1 ② 梱包材×1
※ 上記の梱包材は、地域の条例に当たって処分してください。

オレンジ色のテープがすべて取り外されていることを確認する
※ 確認が終わったら、給紙力セットをセットしてください。

⑦ 設置場所に運ぶ *2人以上で運びます。 ⑧ 位置決めピンとコネクタを合わせて載せる

ペーパーフィーダーを複数台取り付けるときは
手順1~8を繰り返し、1台のみ取り付けの場合は手順9に進みます。

⑨ プリンターを運ぶ *プリンターは、約41.2kgあります。3人以上で持ち上げてください。

⑩ 位置決めピンとコネクタを合わせて載せる ⑪ ロックレバーを図の位置に合わせる

⑫ 給紙力セットを引き出す ⑬ ロックレバーを図の位置に合わせる

⑭ 給紙力セットをセットする

続いて、次の手順にそって作業を進めます

プリンターとペーパーフィーダーを同時に設置したとき

① 用紙をセットする P.2
② 電源コードとアース線を接続する P.3
③ プリンタードライバーをインストールする P.4
④ プリンターの動作を確認する P.6

ペーパーフィーダーをあとから設置したとき
(プリンターをすでに使用しているとき)

① 用紙をセットする P.2
② ケーブルやコードを接続する
取り外したケーブルやコードを接続しなおしてください。

安全にお使いいただくために

マークについて

警告 取り扱いを誤った場合に、死または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。
- アークセラーなどの金属物
- コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器
- これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品内部に入った場合は、直ちにプリンターとコンピュータの電源をオフにし、(1)、インターフェイスケーブルを接続している場合は、インターフェイスケーブルを抜いてください。(2)。そのあと、電源プラグを抜いて(3)、アース線を取り外し(4)、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 電源コネクタが接続される製品の差込口にストレスが強くなると、製品の内部で断線や接触不良が発生し、故障の原因になります。また、火災の原因になる場合もあります。以下のようない取り扱いは避けてください。
- 電源コネクタを頻繁に抜き差しする
- 電源コードに足を引っ掛ける
- 電源コードが電源コネクタ付近で曲げられ、製品の差込口に継続的なストレスがかかっている
- 電源コネクタに強い衝撃を加える
- 付属の電源コード以外には使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。万一漏電した場合は感電の恐れがあります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。
- [アース線を接続してもよいもの]
- 電源コードのアース線端子
- 接地工事(D種)が行われているアース線端子
- [アース線を接続してはいけないもの]
- 水道管...配管の途中でプラスチックになっている場合があります。その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
- ガス管...ガス爆発や火災の原因になります。
- 電話線のアースや避雷針...落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

商標について
Canon, Canonロゴ, LBP, NetSpotは、キヤノン株式会社の商標です。
FontGalleryは、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。
Apple, Macintoshは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
Microsoft, WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について
各ソフトウェアの名称は、次の略称で記載しています。
•Microsoft Windows 2000 operating system: Windows 2000
•Microsoft Windows XP operating system: Windows XP
•Microsoft Windows Vista operating system: Windows Vista
•Microsoft Windows 7 operating system: Windows 7
•Microsoft Windows Server 2003 operating system: Windows Server 2003
•Microsoft Windows Server 2008 operating system: Windows Server 2008
•Microsoft Windows operating system: Windows